記事
Megumi Kakechi · 2020年9月30日 2m read

コンソールログに出力される [SYSTEM MONITOR] DBLatency... の警告について

これはInterSystems FAQ サイトの記事です。

DBLatency の Warning メッセージは、ヘルス・モニタプロセスが定期的にデータベースからのランダム読み取りが完了するまでに要した時間（ミリ秒）を計測していて、設定されている閾値（1000 msec）を超えた場合に出力されます。
mm/dd/yy-18:31:15:060 (2932) 1 [SYSTEM MONITOR] DBLatency(c:\xxx\) Warning: DBLatency = 1510 (Warnvalue is 1000).

上記例では、C:\xxx\IRIS.DAT（または C:\xxx\CACHE.DAT）へのディスク読み取り I/O に 1510 msec かかったことを示していて、メッセージ出力時のディスク I/O 応答速度が遅いことが考えられます。

ディスク I/O 応答速度が遅い原因としては、ディスク I/O 負荷が高いことが考えられます。

- 大量のデータ登録や変更を行う処理が実施されていた。
- 弊社製品以外のソフト（アンチウイルスソフト、バックアップソフト）が動作していた。
- 弊社製品以外のアプリケーションによるディスク負荷など。
- 仮想環境の場合に、他の仮想マシン（VM）で上記のような負荷の高い処理が行われ、その影響を受けていた。

その他、RAID構成のメンバディスクで障害が発生している なども考えられます。

原因調査のためには、現象発生中のパフォーマンスの情報収集が必要となります。
情報収集方法については、パフォーマンス低下時の情報収集ツールについて をご覧ください。

また、事象が起きた背景や前後の状況を確認できますので、以下の情報収集もしていただくと有用です。
【FAQ】トラブル発生時、管理者が最初に行うべきことを教えてください

なお、コンソールログのメッセージの深刻度ですが、0 は Information、1 は Warning、2 は Alert を示します。

ヘルスモニタでは、深刻度の数値を以下のように分けて出力しています。

【Alert の場合】
ある期間のセンサの読み取り値が 3 回連続してセンサの最大値を上回った場合にアラート（深刻度 2 の通知）を生成

【Warning の場合】
ある期間のセンサの読み取り値が 5 回連続してセンサの警告値を上回った場合にワーニング （深刻度 1 の通知）を生成

ヘルスモニタについて詳細は以下ドキュメントをご参照ください。
ヘルスモニタについて【IRIS】
Cachéヘルスモニタについて

【ご参考】
ヘルスモニタでのチェック頻度およびアラート通知条件の確認と変更方法

#システム管理 #Caché #Ensemble #InterSystems IRIS #InterSystems IRIS for Health

---

ソースURL:
https://jp.community.intersystems.com/post/%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%82%BD%E3%83%BC%E3%83%AB%E3%83%AD%E3%82%B0%E3%81%AB%E5%87%BA%E5%8A%9B%E3%81%95%E3%82%8C%E3%82%8B%E3%80%80system-monitor-dblatency%E3%80%80%E3%81%AE%E8%AD%A6%E5%91%8A%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6